

集 特

生活改善についての座談会

海匠農業改良普及所八日市場支所では、農村地域に住まれる皆さんの生活を、健康で快適、便利にするには何をしたらよいのかを知るために、健康、働き方、すまい、自由時間などについての調査票を配布し、そうした行動をアンケートでさぐってみました。

アンケートは四十名の農家の人を無作為に抽出し、依頼しました。その結果、今後の生活改善の対策のため座談会をしました。

司会 農村生活水準調査が行われましたが、調査を行った団体はどこですか。

伊藤 農林省が中心になって、全県下を対象に調査しました。調査そのものは、千葉県が主体となって実施しました。

司会 調査の狙い、目的は何んですか。

伊藤 この頃、社会情勢が急激に変化して、農村地域、または農家の生活も他の面と同じく変わってきているのではないかと、また多様化しているのではないかと、というところで数字的にまだつかんでなかった。そこで総合的に知るため、一定の基準を決め、農家の生活、農村地域の診断を行い、出た結果に基づき、今後の農家生活上のための対策、資料にしようと、アンケートを配布し、調査しました。

司会 調査方法はどのようにして行ったんですか。

伊藤 篠本一区を十戸、三区を十戸、谷中を十戸、虫生を十戸、合計四十戸、四十人を対象にアンケートを配布し、記入してもらいました。

司会 調査の内容はどのようなものですか。

伊藤 調査は農村地域の生活水準を診断した地域調査と、農家の生活水準を調査した農家調査の二種類あるわけですが、それぞれ栄養保健、労働と休養、住居、生計、余暇、教育と教養、生活運営と生活環境、人間関係の九項目を調査しました。

司会 調査しました結果、どのようなことがわかりましたか。

伊藤 調査は生活水準ということで、よい、ややよい、わるい、ややわるいの四段階のランクにわけ結果を見ました。

光町は総合で見ると農家生活水準、地域生活水準の両方とも、や

ややよいのランクになりました。司会 調査の結果で、特にわるいと出たのはなかったですか。

伊藤 わるいという結果が出たのは、なかったんですが、ややわるいとは、なかつたんですが、ありました。と出たのがいくつかありました。その中でも一番わるかったのが栄養、二番目に生活環境と生活運営三番目に教育、教養、態度という結果が出ました。

司会 農協婦人部長さん、栄養改善協議会副会長さん、婦人会長さんは、調査の結果を見て、また皆さんは、それぞれ一年中活動している中で、感じていることは何んですか。

小川せい子 婦人会では、栄養問題としての活動はしてないですが栄養改善協議会で毎月推進員に集ってもらって、保健所の先生の指導のもとで料理教室を開いています。

そして、推進員が学んだものを

部落に帰って教えています。司会 生活環境、生活運営、教育、教養、態度がややわるいそうですが、皆さんでこの原因はどこにあるかを考えて見て、話し合ってください。

椎名とく 一般教養の問題ですけど、教養というのは教えてもらったからと言って、すぐ身につくものではないと思います。

ですから、それだけ皆さんは感心が薄いと思います。機会、余暇を見て会合、会議、講演などへ自発的に参加して、なるべくそういうものを吸収するよう努めていた方がいいと思います。

司会 一般教養という問題として公民館を通じての活動ということと考えられますが、なかなかそういったところに、いくらPRしても参加していただけないということがありますが、婦人会、農協婦人会という団体を通じて、皆さんが教養問題に参加していただくような機会をつくってやればいんじゃないかと考えられますが、婦人会としてはどう考えているんですか。

小川せい子 料理とか民謡の場合の集りは多いですが、講演となりますと参加者が少いですね。

とりあえず、テレビの教養番組などを個々が認識して、見ていただくようにしてもらった方が、手っ取り早いような気がします。